

公同礼拝

2023年7月30日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 高橋和人

奏楽 四宮真奈美

前 奏

招 詞 イザヤ書43章1節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

詩 編 129編5～6節 (旧 972)

使徒言行録 2章37～42節 (新 216)

祈 祷

使徒信条

讃 美 歌 2編150

説 教 「この約束」 牧師 姜 脛米

祈 祷

讃 美 歌 291

献 金

頌 栄 544

祝 祷

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

7月の祈り

主と主の愛を知るために生きる恵みを覚え、信仰に根差した生活を送ることができるように。

心を尽くして礼拝を守り、御言葉に集中し、御言葉の導きと力を受けてそれぞれに与えられた歩みに踏み出すことができるように。

世界の指導者たちが平和を求め、正しく世を治めることができるように。

戦火、紛争、圧政の下にある人々に平和と平安がもたらされるように。

教会総会が主に導かれ、幼稚園の働きが力付けられるように。

今日の祈り

教会学校夏期学校が守られるように。夏休みに入った子どもたちが、元気に過ごすことができるように。高齢の教会員が守られるように。

愛する家族をみ手にゆだね、慰めを必要としているものに、聖霊が寄り添われるように。

「この約束」 姜 脛米
使徒言行録2章37～42節

洗礼を受け、罪を赦していただくことによって、私たちは、聖霊によって生まれ、聖霊によって導かれ、歩いていくキリストの体である教会の一員となります。自分も聖霊を賜物として受けて、その導きの内に歩む者となります。

悔い改めて、イエス・キリストの名による洗礼を受けて罪を赦していただきます。教会に加えられて聖霊のみ力の下で生きること、それは神様のみ言葉によって大いに心を打たれ、このままではいけない、変わらなければならない、変えられたいという

願いを与えられた者の歩むべき道なのです。

「この約束」、それは、悔い改めて主イエス・キリストの名による洗礼を受ける者の罪を神様が赦して下さり、聖霊を注いで下さり、主イエスの救いにあずかる者の群れである教会の一員として新しく生かして下さるという約束です。

その約束が、「あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも」与えられています。そしてさらに、「わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも」と言い換えられています。ここに、私たちが神様の救いの約束にあずかることの根拠が示されています。

それは、主の招きです。私たちが救いの約束にあずかり、私たちの家族も、遠ざかっているすべての人にもそれが与えられるのは、私たちの神である主が招いて下さっているからです。主の招きこそ私たちの救いの根拠です。

「邪悪なこの時代」、罪が支配し、悪が力を振るい、憎しみと争い、対立があるこの邪悪な時代から救われたいと私たちは願います。

そのことは何によって実現するのか。私たちはどうすればよいのか。その答えがここにあります。それは、主イエス・キリストによる神様の招きを受けることです。

悔い改めて主イエスの名による洗礼を受け、賜物として聖霊を受けることです。この神様の招きによって、私たちは邪悪なこの時代から救われるのです。そして、罪を赦していただき、聖霊の与えて下さる力と導きによって、平和を造り出す者として生きるのです。

神様の約束が、聖霊の力により、私たちを通して実現していくのです。